

IGES SDGs Briefing Note

SDGs に関する最新動向と IGES の取組み

第 1 号 2016 年 8 月

目次 CONTENTS

1. 最新国際動向

【国際】

- 2030 アジェンダ採択後初の第 4 回持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム (High Level Political Forum 2016) に参加 (2016 年 7 月 11-20 日、ニューヨーク) 2

【アジア】

- IGES と国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) が「第 8 回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP2016)」を開催 (2016 年 7 月 12-13 日、パシフィコ横浜) 2

この Briefing Note では、SDGs に関する最新の国内外動向と IGES の取組みを紹介します。

IGES の SDGs に関する出版物やその他の関連情報は以下の SDGs プロジェクトをご覧ください。

SDGs プロジェクト

“Aspiration to Action”

www.iges.or.jp/jp/sdgs/

2. 政府の取組み

【国際】

- IGES では各国の SDGs 実施状況について調査を継続中 3

3. 非政府アクターの取組み

【自治体/都市】

- UN-Habitat III (第 3 回国連人間居住会議) の開催迫る (2016 年 10 月、エクアドル・キト) 3
- IGES も加盟する SDSN が SDG Cities Guide “Getting Started with the SDGs in Cities”を公表 3

【企業】

- SDG コンパス日本語版 (GCNJ/IGES 共同翻訳) をプロモーション! 4
- ISAP2016 で WBCSD と初の会談、SDGs 実施に関する連携を開始 4
- SDGs の企業取組み状況に関する調査を開始 4

【研究機関・コンソーシアム等】

- 東京大学、国立環境研究所、慶應義塾大学等とともに、環境総合推進費 S-16 「アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価」プロジェクトを開始 4

【市民社会/非政府団体など】

- IGES がアジアで活発な The Asia-Pacific Regional CSO Engagement Mechanism (APRCSEM)主催のステークホルダーズ会議に参加 5

【国内の動向】

- 「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第 1 回会合」を開催 5

4. 今後の主要イベント 6

1. 最新国際動向



第4回 HLPF



HLPFに参加したIGESの吉田主任研究員



ISAP2016



浜中裕徳 IGES 理事長

<国際>

2030 アジェンダ採択後初の第4回持続可能な開発に関する ハイレベル政治フォーラム（High Level Political Forum 2016）に参加 （2016年7月11-20日、ニューヨーク）

2016年7月にニューヨークで開催された第4回 [HLPF](#) に参加しました。「[誰一人取り残さない（No One Left Behind）](#)」を主なテーマとし、SDGs 実施について政治的リーダーシップとガイダンスの提供、SDGs 実施の進捗の把握などを目的に、前半は、テーマ別（貧困削減、食料の安全保障、SDGs の国内政策への統合等）、後半は22カ国の自主的国別レビューを中心に議論が進められました（以下、「2. 政府の取組み」参照）。ハイレベル・セグメントでは、ノルウェーからはエルナ・ソルベルグ首相、フランスからはセグレーヌ・ロワイヤル環境大臣など、ハイレベルな各国代表が参加しました。SDGs 指標は、継続して改良を続け、2016年10月18～21日にアディスアベバにて開催予定の第4回 IAEG-SDG 会合で、Tier システムがファイナライズされる予定です。この結果は、以下の環境省主催（IGES 共催）「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第1回会合」で共有されました。

<アジア>

IGES と国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）が 「第8回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム（ISAP2016）」 を開催

（2016年7月12-13日、パシフィコ横浜）

[ISAP2016](#) では、「Translating Knowledge into Actions towards 2030 and beyond」をメインテーマに、歴史的とも言える2015年の2つの重要な国際的合意—持続可能な開発目標（SDGs）を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と2020年以降の新たな気候変動枠組みである「パリ協定」—の成果を国際・国家・地方／地域レベルで効果的に実施していくための方策について、国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）特別代表を務めた、フランス気候変動交渉担当大使のロラン・ストゥビアナ氏が基調講演するなど、2日間でのべ1,100名以上の参加があり、活発な議論を行いました。特にSDGsについては、2日目「アジアにおけるSDGsの革新的な取り組みの開始：主要ステークホルダーの役割」、「ビジネスアクションの強化：挑戦と解決策」、「先進的な都市の取り組み：持続可能な社会への転換」等のセッションで最新動向が共有され、今後の取り組みの強化について議論を行いました。また、初の試みとして、各セッションで議論の土台となるIGES ディスカッションペーパーも出版しました。

2. 政府の取組み

<国際>

IGES では各国の SDGs 実施状況について調査を継続中

HLPF2016 では、22 カ国の自主的レビューが行われドイツ、フィンランド、スイス、フィリピンなど先進的に取組みを行っている事例が共有されました。また、IGES ではアジア数カ国（インドネシア、フィリピン、ブータン、インド、韓国）における実施状況に関する調査を行いました。ISAP2016 Discussion Paper「[Starting Strong on the SDGs in Asia: A Framing Paper on National Readiness](#)」で概要を説明しています。



3. 非政府アクターの取組み

<自治体/都市>

UN-Habitat III（第3回国連人間居住会議）の開催迫る

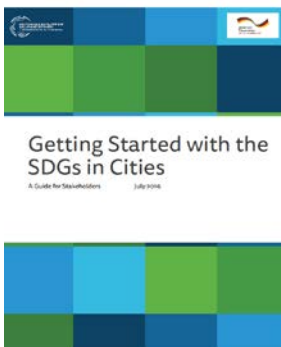
（2016年10月、エカドル・キト）

UN-Habitat II からの20年間で進められた各国の取組み実績をもとに議論がなされる予定。議論の結果として [New Urban Agenda](#) が採択される予定であり、SDGsにも急速に進展する都市化を持続可能な開発に結びつけ、幅広い人間居住に関する課題解決に向けた国際的な取組み方針を提供するという形での貢献を目指しています。IGESも会議に参加し、議論動向やサイドイベント等をフォローする予定です。



IGESも加盟するSDSNがSDG Cities Guide "[Getting Started with the SDGs in Cities](#)"を発表

コロンビア大学ジェフリー・サックス教授が牽引する研究機関ネットワークである「持続可能な開発ソリューションネットワーク（Sustainable Development Solutions Network: SDSN）」、フォード財団、NY市長オフィス、100 Resilient Cities (100RC)が7月のHLPF関連ワークショップでの議論を基にまとめました。NY市の基本構想・計画をSDGsの項目に再整理した付録などもあり興味深いです。



3. 非政府アクターの取組み

<企業>

SDG コンパス日本語版（GCNJ/IGES 共同翻訳）をプロモーション!

2016年3月に出版したSDGコンパス日本語版に関する[記事](#)（会員限定）が日刊工業新聞（2016年5月24日）で紹介されました。経済人コー円卓会議（CRT）日本委員会主催「[ステークホルダー・エンゲージメントプログラム](#)」にてSDGコンパスの紹介を行いました。



ISAP2016 で WBCSD と初の会談、SDGs 実施に関する連携を開始

[持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）](#) は、SDGs と企業活動に関連する情報プラットフォーム [SDG Business Hub](#) を立ち上げ、先進事例を含む様々な情報提供の場を設置しました。IGES は ISAP2016 にて WBCSD と初の会談を行い、特に日本企業の SDGs 実施促進において連携を強化していくことに合意しました。



SDGs の企業取組み状況に関する調査を開始

国連グローバル・コンパクトの Local SDG Pioneers 2016 に選出されたデンマークのバイオ化学メーカー Novozymes 社、イケア、日本では、NEC、住友化学グループ、タケダ、TEIJIN など先進的な取組みを開始している企業が増えています。こうした取組み状況について、本年6月より動向調査を開始しました。第1弾として、ISAP2016 Discussion Paper として、「[持続可能な社会実現のためのビジネスアクションの強化：挑戦と解決策](#)」を出版。また、今後は国内外の企業動向を調査し取りまとめる予定です。



<研究機関・コンソーシアム等>

東京大学、国立環境研究所、慶應義塾大学等とともに、環境総合推進費 S-16

「アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価」プロジェクトを開始

本プロジェクトの4つの研究サブテーマのうち、IGES は「アジアにおける資源環境制約下のニーズ充足を目指す充足性アプローチへの政策転換」を担当しています。このサブテーマでは、アジアの経済成長を背景に、省エネルギー、省資源型のライフスタイルの普及や消費・ニーズのあり方の転換を視野に入れたエネルギー・資源消費総量を抑制する社会システムづくりに貢献できる政策デザインを提案することを目指しています。この目的のため、持続可能な消費と生産のあり方を、地域の事例とマクロモデルとの2方向から検討します。その一環として、ISAP2016 で「[持続可能な消費と生産：アジアでの SDGs 実施に向けたステークホルダー連携への第一歩](#)」というセッションが開催されました。持続可能な消費と生産分野をリードする研究者と企業の対話を通じて、低炭素型・資源効率型のライフスタイルの普及、インフラ整備、政策設計に向けて、どのようにステークホルダーの連携を進めるべきかについて日本での取組みをベースに検討しました。



ISAP2016「持続可能な消費と生産：アジアでの SDGs 実施に向けたステークホルダー連携への第一歩」セッション

3. 非政府アクターの取組み



APRCM エレニタ・ダノ氏 (ISAP2016にて)

<市民社会/非政府団体など>

IGES がアジアで活発な The Asia-Pacific Regional CSO Engagement Mechanism (APRCM)主催のステークホルダーズ会議に参加 (2014年4月、タイ・バンコク)

幅広い地域を対象とした協力、国および国際レベルでの政府間交渉にアジア太平洋の小区域の意見を聞き入れていくことを目的とした市民社会プラットフォームであるAPRCMは、UN-ESCAP (国連アジア太平洋経済社会委員会) の支援により設立され、例年 ESCAP 主催 APFSD と back-to-back で会合を開催し、提言を行っています。本年4月にも SDGs の実施に関する会合を開催し ESCAP によるアジア地域の SDGs 実施に関するロードマップ策定に向けた提言を行い、IGES も参加しインプットを行いました。今後は国連機関や加盟国等と連携の強化を目指しています。



<国内の動向>

「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第1回会合」を開催

2016年8月19日に東京で環境省主催 (IGES 共催) 「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第1回会合」が開催され、SDGsの実施状況に関する国内外の動向や日本企業の主な取組み状況に関して情報共有と議論が行われ、約180名が傍聴参加しました。本ミーティングは、年度内にあと2回開催する予定です。資料は以下 URL より入手可能です。

URL:

<http://www.iges.or.jp/jp/integrated-policy/20160819.html>

※「参考資料4」に企業や自治体ネットワークの主な国内外の動向をとりまとめています。



2016年8月19日に開催された「SDGs ステークホルダーズ・ミーティング第1回会合」

4. 今後の主要イベント

第 71 回国連総会（2016 年 9 月 13 日～、アメリカ・ニューヨーク）

URL: <http://www.un.org/en/ga/71/meetings/index.shtml>

第 3 回国連人間居住会議（The UN Conference on Housing and Sustainable Urban Development (Habitat III)）（2016 年 10 月 17-20 日、エクアドル・キト）

URL: <https://www.habitat3.org/>

2016 年国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）グローバルラウンドテーブル年次会合（2016 年 10 月 25-27 日、アラブ首長国連邦・ドバイ）

URL: <http://www.unepfi.org/events/2016/roundtable>

第 7 回アジア太平洋における環境と開発に関する閣僚級会合(Seventh Ministerial Conference on Environment and Development in Asia and the Pacific: MCED-7)（2016 年 11 月、タイ・バンコク）

URL: <http://www.unescap.org/events/ministerial-conference-environment-and-development-sixth-session> (第 6 回会合)

第 2 回効果的な開発協力のためのグローバルパートナーシップに関するハイレベル会合（Second High-Level Meeting of the Global Partnership for Effective Development Co-operation）（2016 年 11 月 28-12 月 1 日、ケニア・ナイロビ）

URL: <http://effectivecooperation.org/events/2016-high-level-meeting/>

生物多様性条約第 13 回締約国会議（COP13）及びカルタヘナ議定書第 8 回締約国会議（COP-MOP8）及び名古屋議定書第 2 回締約国会合（COP-MOP2）（2016 年 12 月 4-17 日、メキシコ・カンクン）

URL: <https://www.cbd.int/>

持続可能な開発データに関する世界フォーラム（世界データフォーラム）（World Forum on Sustainable Development Data (World Data Forum)）（2017 年 1 月 20 日（予定）、南アフリカ・ケープタウン）

URL: <http://www.data4sdgs.org>

SDGs プロジェクト
“Aspiration to
Action”

www.iges.or.jp/jp/sdgs/

発行：2016 年 8 月

編集・発行：公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11

TEL: 046-855-3853 Fax: 046-855-3809 E-mail: ipss-info@iges.or.jp

※このニュースレターの内容は執筆者の見解であり、IGES の見解を述べたものではありません。

Copyright © 2016 Institute for Global Environmental Strategies. All rights reserved.